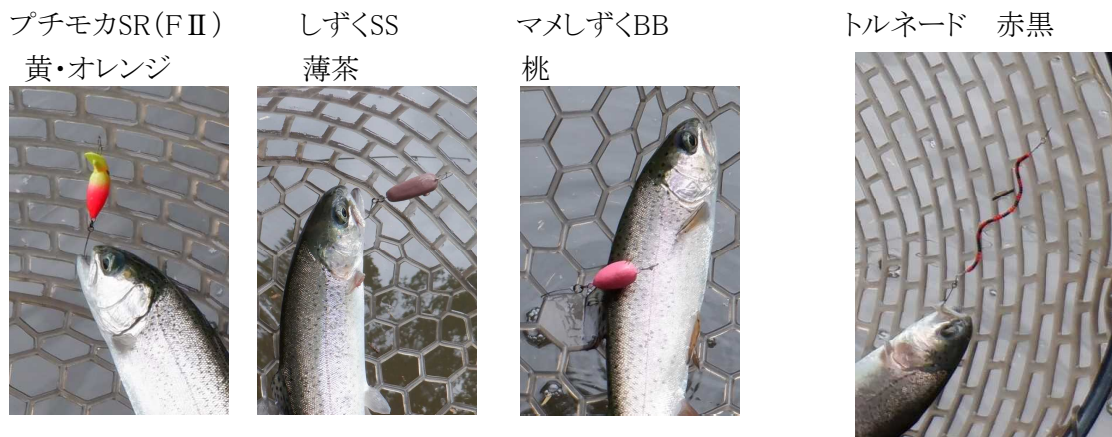
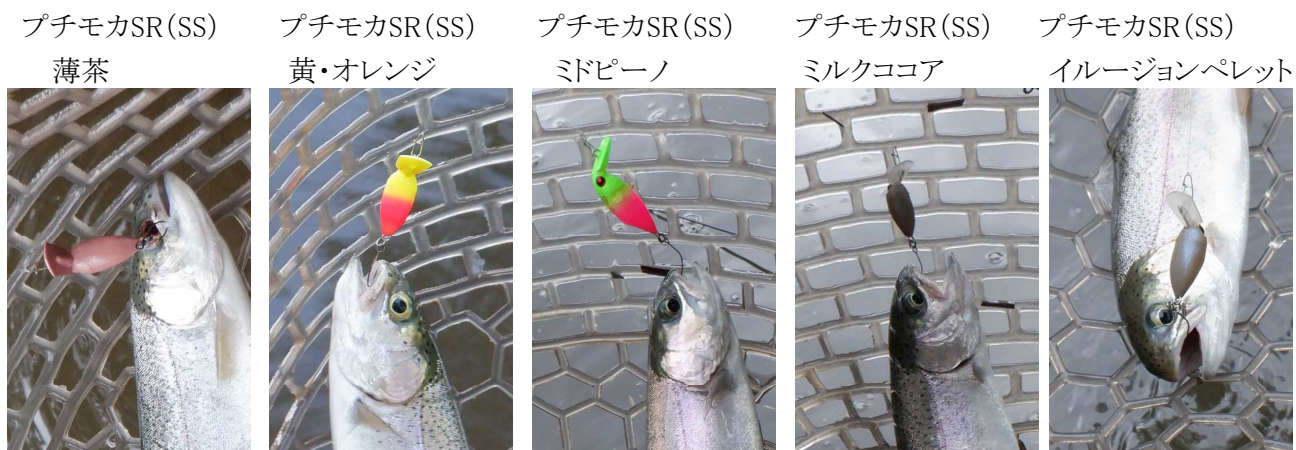


【ヒットルアー】

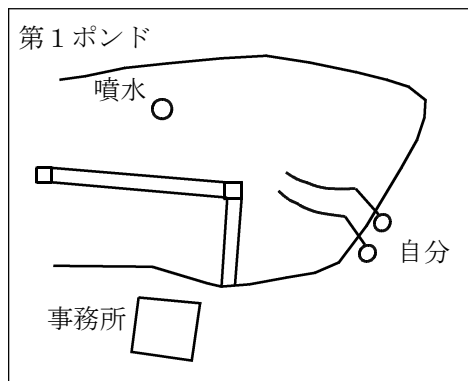
- |                    |     |                       |    |
|--------------------|-----|-----------------------|----|
| ・プチモカSR(SS) 薄茶     | 10尾 | ・プチモカSR(SS)イレーションペレット | 1尾 |
| ・プチモカSR(SS) 黄・オレンジ | 5尾  | ・プチモカSR(FII) 黄・オレンジ   | 4尾 |
| ・プチモカSR(SS) ミドピーノ  | 3尾  | しずくSS 薄茶              | 1尾 |
| ・プチモカSR(SS) ミルクココア | 2尾  | マメしずくBB 桃             | 1尾 |

<ツレ>注目ルアー

- ・トルネード 自作 赤黒 4尾 / ・しずくSS薄茶 1尾



【様子】



○料金 一日 男性 ¥4,500 女性 ¥3,500

○火曜日は放流なし。餌撒きなし。

○曇りのち雨、風なし。水は濁っている。

## スタート～午後1時30分 19尾

○8時40分スタート。お客さんは少ない。

○今日は第1ポンドのみとのこと。先日の日曜日が第2ポンド最終日だったそうだ。

○栈橋は竿を1本しか持ち込めないことから、図のところに入った。

○表層にマスの姿が見られ、動きもある。

○プチモカSR(SS)黄・オレンジからスタートした。すぐにヒット。

○30分ほどで6尾取った。その後、ピタリと釣れなくなった。表層にマスが見られない。

○いろいろ試すが、さっぱりダメ。しばらくすると、また、表層で釣れ出した。

○30分以上釣れないという時間帯が1日で5回もあった。

○釣れなくなったときは、釣れる棚を探した。

・モカDR(SS)ミドピーノでゆっくり巻き、何巻き目で当たるかを調べた。→ 当たらない

・ボトム → さっぱりダメ

・トップ → 反応するが、口を使わない。

○結局、表層をもう一度試すと、連続ヒットになるといったパターンだった。

○午前中で19尾取った。

○12時20分レストランで昼食を取った。

## 午後1時00分～午後3時00分 8尾

○午後1時00分に再スタート。同じ場所で釣った。状況は変わらない。

○マメしづくBB桃でボトムを試したがさっぱりダメ。表層をリトリブしたらヒット。しかし、続かなかった。

○午後2時20分 表層にマスが見られるが、プチモカSR(SS)を投げても釣れない。

○プチモカSR(FⅡ) 黄・オレンジを投げた。これが良かった。連続ヒットとなった。

○3時少し前、雨が降り出した。3時に納竿した。

## 【自作ルアー しずく】

○プチモカSR(SS)薄茶がよく釣れた。この「薄茶」は、100円ショップで購入したアクリル絵の具で塗ったものである。「薄茶」はこれまでの「しずく」の実績カラーであることから、プチモカSR(SS)に塗ってみた。この色はとても良い。

○「しずくSS薄茶」の反応は良かった。1尾釣ったので、ツレに渡した。

○やっぱり「薄茶」はよく釣れる。プチモカSR(SS)を「薄茶」に着色したのは大成功である。

## 【自作トルネード】

○今日はツレにトルネードを試すように頼んであった。

○これまでよく釣れた「赤オレンジ」にはまったく反応がなかったとのこと。

○作ったばかりの「赤黒」が連続ヒットとなった。

○釣り方は、着水後、トルネードが見えなくなるまで沈むのを待ち、それからリトリブしたとのこと。

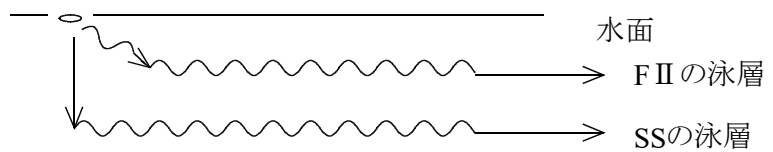
○私の経験では「赤」もよく釣れる。

○トルネードのビーズはできるだけ小さい方がよいようである。

○以上のことから、トルネードは、「赤」「赤オレンジ」「赤黒」の3色がよい。

## 【プチモカSRの“SS”と“F II”の使い分け】

○スローシンキングであるプチモカSR(SS)が着水したらすぐに一定層を泳ぐようにリトリーブすると、スローフローティングであるプチモカSR(F II)が着水したら、少し巻いて潜らせ、一定層を泳ぐよ



うにリトリーブする場合、後者の方が水面直下を引いているように思える。また、そのつもりでリトリーブした結果、終盤の釣果となった。SSでは釣れなかったが、F IIで連続4尾取った。

○同じ時間帯にツレもプチモカSR(F II)で連続ヒットさせている。ツレの釣り方は、着水したら、プチモカが見えなくまで少し速めに巻いて潜らせ、その後、一定層を泳ぐようにゆっくり引くとのことだった。ゆっくり引くと言ってもSSより速めに巻いたとのこと。F IIをSSのスピードで巻くと、F IIが浮いてくるからである。

○以上のことからすると、終盤のヒットパターンは、泳層ではなく、泳ぐスピードであり、泳ぎ方である。スピードを速くすることでプリプリと泳ぐ。

○そういうことであれば、F IIを使わなくてもSSで同様の速さで引けば釣れたかも知れない。

○また、SSで水面直下を引くためには、SSが着水したら、竿を立ててルアーを水面直下まで引き上げ、そこから巻けば水面直下を引くことができるのではないだろうか。

## 【振り返り】

○棚が分からなくなったときに、モカDR(SS)ミドピーノで棚を探すことを試したことは良かった。薄茶も試したい。(今日は結果として、棚を絞ることができなかったが…。)

○棚を探すとき、モカDR(F)ミドピーノも使う。ボトムも試す。トップは魚の様子から判断すれば良い。

○ミドピーノ、黄・オレンジ、薄茶がよく釣れる。3色でローテーションしたい。

○パイロットルアーとしてのスプーンを探すこと。

○午後4時ごろからマスが表層に集まっているような高活性時に、スプーンで釣る方法を試したかった。今日は、3時に納竿としたため、できなかった。